

そのけんFAXニュース

討議資料

発行

自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

衆議院議員

その うら けん た ろう
園浦健太郎

平成20年(2008年)
20-5-号外

長寿医療制度の改善案を官邸に提出

長生きするほどメリットが大きくなる制度に!!

長寿医療制度(後期高齢者医療制度)については、我が国の厳しい財政事情の中で、一段と高齢化を増す人口構成に対応する医療保険制度として創設されたものですが、「収入が少ない高齢者の方への配慮に欠けている。」などの厳しい批判を浴びています。

世界に誇るべき日本の医療や保険制度を将来にわたって維持するためには、国民の皆様には負担を求めることとなりますが、それが「やさしさ」や「配慮」に欠けた制度であってはなりません。

日頃から広い政策課題について勉強・議論している7人の衆議院議員の仲間で、長寿医療制度の問題点と修正すべき点、更に、それに必要な国費とその財源についても裏付けして、具体的に示した提言をまとめ、5月23日、総理官邸に出向き、福田総理に提案しました。

提言者 小野寺五典、江藤 拓、宮下一郎、鈴木淳司、
衆議院議員 赤澤亮正、徳田 毅、園浦健太郎

その内容は、裏面のとおりです。

提言1

収入の少ない高齢者の健康保険料は無料に

収入が少ない75歳以上の高齢者は、健康保険料の支払いを要しないものとする。

これにより、高齢者の保険料負担は無くなり、保険料滞納などによって医療費の全額を負担しなければならないという事態も無くなる。

(これに必要な財源は、最大で約730億円。 相続税の改正で捻出)

提言2

健康保険料の納入方法（年金天引き）の見直し

健康保険料を納めなければならない方の保険料納入方法については、「年金からの天引き」だけでなく、金融機関からの振込（「年額一括払い」又は「月払い」等）も希望により選択出来るような制度に改める。

提言3

健康保険料決定の元となる所得の把握方法の見直し

健康保険料を算定する所得基準を、世帯単位から個人単位に変更する。

これにより、一定額以上の所得がある家族の扶養となっている場合に、高齢者の保険料が個人単位の場合より高くなる状況が無くなり、公平感のある保険料負担が実現する。

提言4

人間ドックに対する補助も今までどおりに実施

これまで多くの国民健康保険で実施されていた「人間ドック」に対する補助制度を、長寿医療制度にも導入し、引き続き、安価で安心して受診出来るようにする。



衆議院議員 その うら けんたろう 園 浦 健太郎

自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

地元事務所 〒272-0021 千葉県市川市八幡2-16-20-203

☎047-318-1001 Fax047-336-8801

国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館211号室

☎03-3508-7701 Fax03-3508-3451

E-mail

sonoura@au.wakwak.com ホームページ <http://www.sonoken.org>

ホームページも、ぜひご覧下さい。活動日記を連日、更新しています。